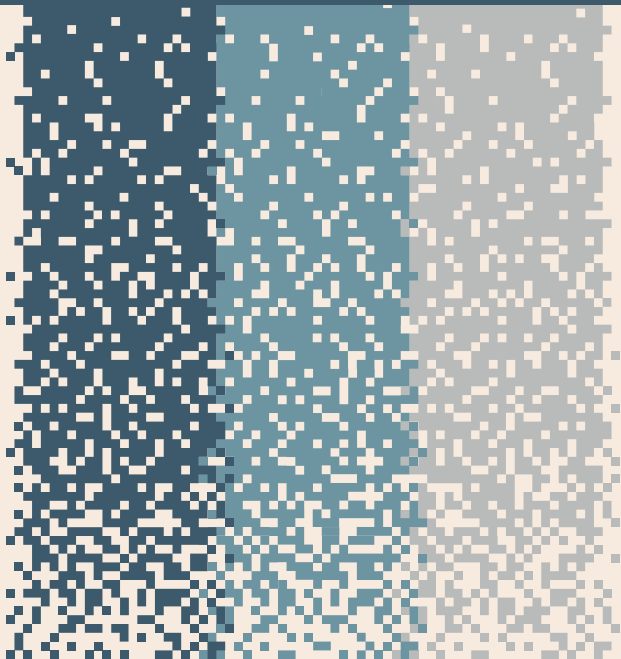




A web guide to
Generation Loss MKII



目次

2	概要	
4	クイックスタート	
6	Controls	→ 6 ノブ
		→ 10 トグルスイッチ
16	Wow	→ 12 フットスイッチ
		→ 14 秘密のオプション
18	Flutter	
20	Models	
24	Saturate	
28	Failure	
32	Aux	
34	Classic Mode	
36	カスタマイズ	
38	Ramping	
40	↳ Ideas	
42	外部コントロール	
44	シグナルフロー	
46	Bye	



Power req: 9VDC センターマイナス~250 mA

概要

Generation Loss MKIIでは1つの目標へ、2つの異なるアプローチをとっています。

ノスタルジックなテープ、特にVHSのようなサウンドを再現すること。

一つ、創造性と
イマジネーションを重視すること。(classic)



一つ、研究と分析を
重視すること。(mkII)



このマニュアルは主にMKIIの新しい機能へフォーカスしています。

そして、今後は本機をGen Lossと呼称します。その方が簡単だからね。

GenLossは完全に分解された1台のVCR(ビデオテープレコーダー)として考えることが出来ます。テープマシンの奇妙なサウンドやアーティファクトを取り出し、独立してコントロールが可能です。

なのであなたは選択ができます。

WOWは貴方には必要ない？大丈夫、オフにしましょう。一部は完全に壊れているけど、その他は完璧で新品同様なテープマシンを手に入れてしまいましょう。

GenLossにはあらゆる種類のテープマシンを忠実に再現するため、必要な要素が全て揃っています。ですがそのアイデアを無視して、なにか新しいものを創り上げることも可能です。磁気サチュレートを加えたコーラス、ランダムイズ・ステレオスプリッター、多目的なEQとしても使用できます。

そして上記のすべてを、異なるプリセットへ保存できます。

そのやり方を説明しましょう。

クイックスタート

まずはGen Lossを貴方のセットアップへ順応させましょう。そこまで時間はかかりません。

大体は以下の設定でうまくいくはず。

- モノイン、モノアウト
- ステレオイン、ステレオアウト



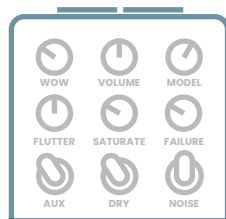
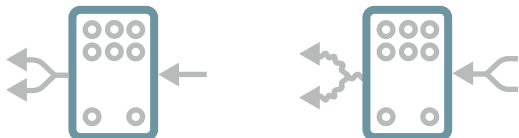
入力がそのまま出力されます。シンプル！

モノ入力をステレオへ分けたとき

ユニークなステレオ処理を行いたいとき

- MISOをオン

- SPREADをオン



じゃあこれを試してみてください。
ナイスで物憂つげ。



他のはそのままにして、
各ノブを1つずつ最大まで回してみよう。



ドライ信号をミックスしてサウンドを拡張してみよう。

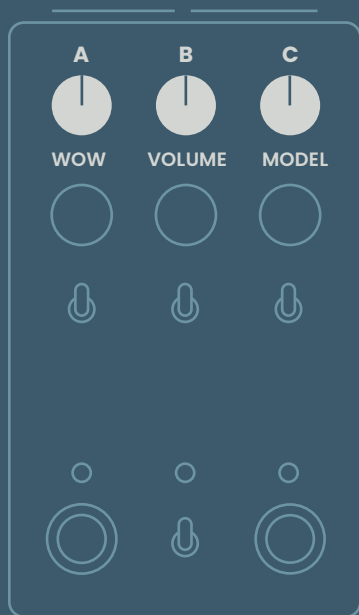


異なるAUX機能を試してみよう。

どんな設定でも、何らかの特定のテープマシンが思い起こされるはず。では一つずつ詳細を見ていきましょう。

まずはコントロール類について。

Controls - Knobs ノブ



Wobble, boost, filter.

A

WOW

スローでなめらかな、ランダムなピッチモジュレーションの深さを設定します。予測不可能なビブラートのように機能し、クラシックなテープサウンドを決定づけます。

B

VOLUME

ウェット信号の音量を設定します。12時でユニティ、最大で二倍ほどブーストします。Rampingがオンのときはこのノブの機能が変わります。音量の設定は記憶され、rampムーブメントの速度をコントロールするようになります。

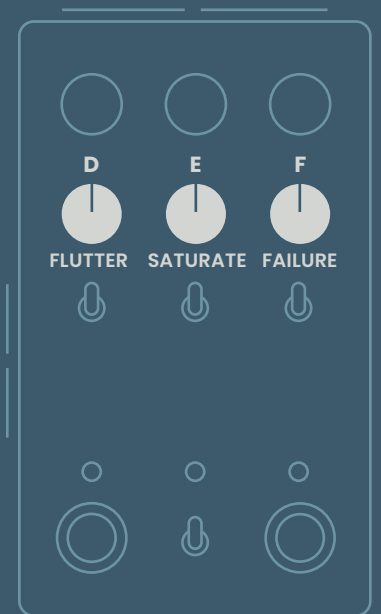
C

MODEL

それぞれがユニークなEQプロファイルを持つテープマシンのモデルを切り替えます。ビデオテープやカセットデッキ、カムコーダーなど、実際のハードウェアの周波数解析からデザインされています。

LP (Classic Mode): レゾナントローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。反時計回りで高域が削られていきます。

Controls - Knobs ノブ



Wriggle, distort, disrupt.

D

FLUTTER

速くて激しいランダムモジュレーションの強度を設定します。音量とピッチの両方へ影響し、テープの揺れや震えを再現します。

(CLASSIC MODE) MKIIと似ていますが、音量へのモジュレーションはありません。

E

SATURATE

ラウドな信号がテープへ録音された際に発生する、磁気的なサチュレーションを再現します。磁気ヒステリシスループとして知られるものです。

GEN (CLASSIC MODE) サンプルレートを設定します。反時計回りで音質が低下し、エイリアスノイズが加わります。

F

FAILURE

テープマシンで自然に発生する小さな故障、サウンドの引っかけや欠け、ホワイトノイズやポップノイズなどを加え、動的なフィーリングを演出します。dipスイッチや秘密のオプションで、カスタマイズが可能です。

HP (CLASSIC MODE) レゾナントハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。時計回りで低域が削られていきます。

Controls - Toggles トグルスイッチ



Recall, mix, select.

A

AUX

左フットスイッチで切り替えるパフォーマンス・エフェクトを選択します。秘密のオプションでエフェクトがかかるまでの時間を設定できます。

B

DRY

クリーン信号の音量を設定します。

NONE - 真正正銘のテーブマシン。

SMALL - 僅かにクリーニング信号をブレンドし、テープエフェクトを残しつつより解像度を高めます。

UNITY - クリーニング信号とエフェクトが均等に出力されます。コーラスエフェクトやとろけるようなモジュレーションに。

C

NOISE

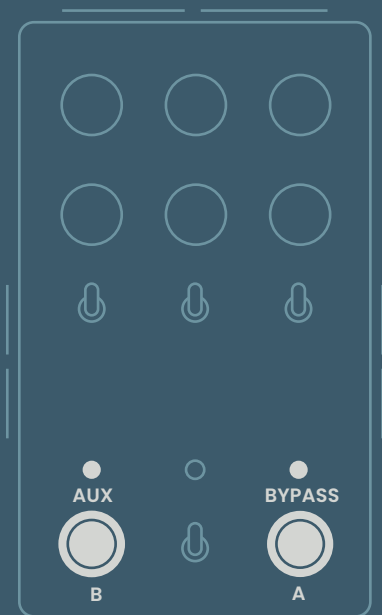
ヒスまたは機械的(ハムノイズ/壊れたビデオデッキからのサンプリングノイズ)の2つの要素からなるノイズレベルを調整します。各要素のレベルは秘密のオプションで設定可能です。

D

PRESETS

トグルスイッチ右と左のポジションへプリセットを保存し、いつでも呼び出すことができます。中央はライブ設定で現在のセッティングを反映します。プリセットを保存するには、保存したい方向のフットスイッチを3秒長押しし、押しながらかもう一方のフットスイッチを更に3秒長押しします。保存に成功するとLEDが点滅します。

Controls - Footswitches フットスイッチ



Engage, perform, tweak.

A

BYPASS

Gen Lossのオンオフを切り替えます。

Gen Lossはさまざまなバイパスとドライ・スルーの設定を備えています。デフォルトではアナログドライスルーのトゥルー・バイパスです。詳細は44ページを御覧ください

B

AUX

AUX機能を起動します。

長押しでモーメンタリーで起動します。隠されたオプションでAUXエフェクトのオンセット・スピードを調整可能です。

HOLD

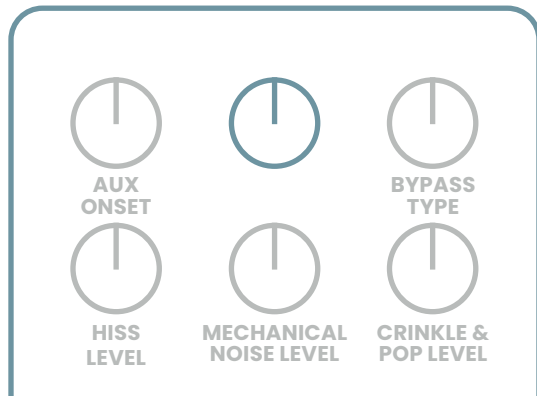


隠されたオプション

両方のフットスイッチを長押しすることでGen Lossの様々な要素を微調整できる隠されたオプションへアクセスできます。設定の変更中はスイッチを押し続け、終了したら離してください。オプションについては次ページで解説しています。

Hidden Options 隠されたオプション

両方のフットスイッチをLEDが緑色に変わるまで長押しすると、隠されたオプションにアクセスできます。



AUX ONSET (WOW knob)

AUXエフェクトが起動するまでの時間を設定します。時計回しに回すほど、より時間がかかります。瞬間的な変化から遅い寄るようなトランジションまで。

HISS LEVEL (FLUTTER knob)

NOISEトグルで有効になるヒスノイズの音量を設定します。

MECHANICAL NOISE LEVEL (SATURATE knob)

NOISEトグルで有効になる機械的ノイズの音量を設定します。12時でゼロ、時計回りでハムノイズ、反時計回りでVCRノイズが加わります。

CRINKLE / POP LEVEL (FAILURE knob)

FAILUREノブで加わるカサカサというノイズやポップノイズの音量を設定します。

BYPASS TYPE (MODEL knob)

Gen Lossはクリックレスでサウンドに影響のないスイッチングのために、DSPバイパスのオプションを備えています。これがアクティブのときクリーン信号はデジタルスルーされ、Gen Lossをバイパスします。12:00から時計回しでDSPバイパスがアクティブになり、12:00から反時計回しでトゥルーバイパスに戻ります。

INPUT GAIN (DRY toggle)

入力信号の強さに合わせてサチュレーションレベルを設定できます。右のポジションではより強いディストーションが得られますが、より大きな入力信号によりデジタル処理における歪みも加わることに注意してください。

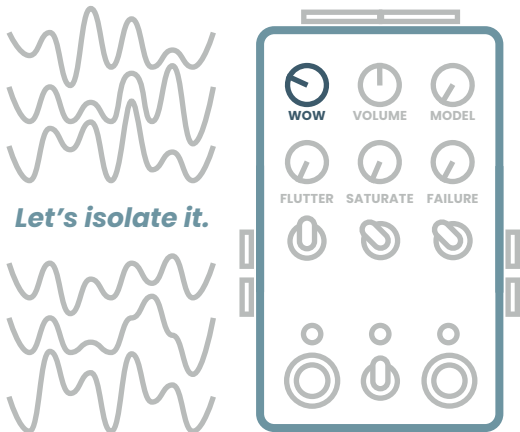


LINE LEVEL | INSTRUMENT LEVEL | HIGH GAIN
DRY

Wow

Wowはクラシックなテープスタイルの動きを再現します。

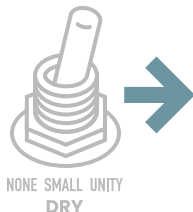
テープならではの印象的で調子外れなピッチベンドを発生させます。ビブラートに近いですがよりランダムで不安定です。



10時あたりがやりすぎではない、ニュアンスにあふれたサウンドを楽しめるスイートスポットです。より高い設定では、マシンの混乱やメルトダウンしたテープが連想されます。

WOWはユニークなコーラス・サウンドを手に入れるカギでもあります。

DRYトグルをUNITYにして、
能性を広げましょう。



より奇妙なものを望むなら、FLUTTERをいくつか回して震えるようなコーラスにアクセスしてみましょう。この2つは個別に使用しても興味深いです。WOWとFLUTTERは最高のパートナーであるため、ベストなテープエフェクトのためには一緒に使うとより良い結果となります。

次はFlutterについて...



Flutter

Flutterはテープ特有の、速くくねるような動きを再現します。



不安定な揺れのWOWとは異なり、FLUTTERは穏やかで安定したエフェクトです。モジュレーションでありつつテクスチャのように作用し、存在感を創り出します。強すぎず弱すぎず、ちょうどいいレベルで設定ができます。

音量とピッチの両方に作用します。



では貴方が効果に気づかなくなるまで下げてみましょう。より微細でリアルなサウンドをつくるためのテクニックです。

WOWを無効、FLUTTERのみを有効にすることで、壊れてはいないがヴィンテージ感のあるサウンドとなります。顕著なモジュレーションは無く、古き良き時代を思い起こすようなトーンです。

Gen LossをオーバードライブやEQ、コーラスとして用いる際は、FLUTTERを少し回してみてください。ニュアンスを更に強調する特別な隠し味です。



Model

貴方のためだけに用意されたテープライブラリです。

MODELノブで、実際のハードウェアからサンプリングしたさまざまなEQプロファイルを切り替えます。

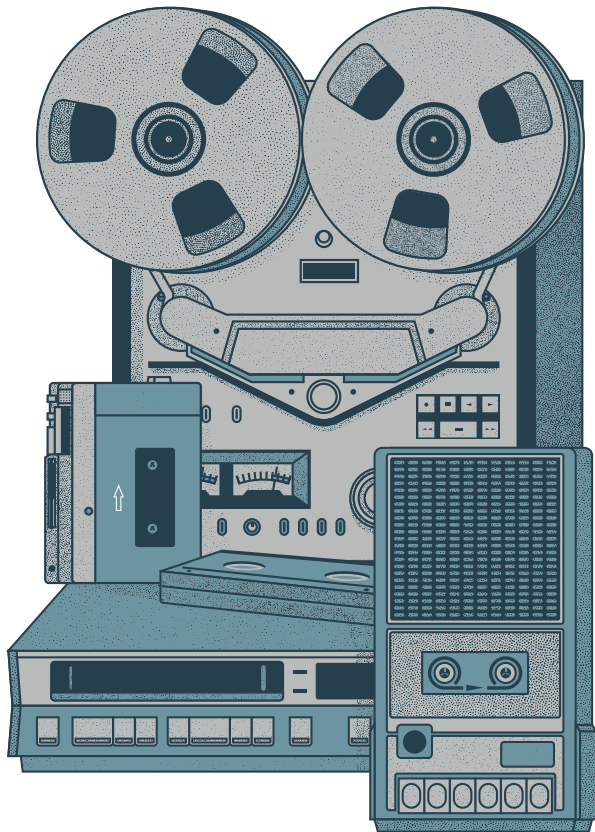


- 1-3 VHS
- 4-5 Portastudio
- 6 Camcorder
- 7-8 Dictaphone
- 9 Toy
- 10 Walkman
- 11 Broken
- 12 Reel-to-reel

モデルを探索していくには、Getting Started(4ページ)の設定から始めて、少しずつセッティングを変えていくのが良いでしょう。各パートがどのように関係しているかを、聴きながら確認できます。

1つずつモデルを試して、どれが貴方に最適か探してみましょう。

同じモデルでも異なる楽器やサウンドソースにより、ドラマチックに効果が変化します。



Models - Continued



OFF
TYPE: NA
反時計回し切りでMODELをバイパスします。フィルタリング無し。



1 CPR-3300 Gen 1
TYPE: VHS

長い間放置されたVCR。



2 CPR-3300 Gen 2
TYPE: VHS

同じVCRに上書き、CPR-3300 Gen 1 サウンド。コピーのコピー。



3 CPR-3300 Gen 3
TYPE: VHS

同じVCRに2度上書きされたCPR-3300 Gen 2 サウンド。コピーのコピーのコピー。



4 Portamax-RT
TYPE: CASSETTE

デスクトップスタイル、オールインワンの4トラックレコーダー。



5 Portamax-HT
TYPE: CASSETTE

デスクトップスタイル、オールインワンの4トラックレコーダーをハーフスピードで再生。



6 CAM-8
TYPE: CASSETTE

カムコーダー(ビデオカメラ)。内蔵マイクからサンプリング。



7 DICTATRON-EX
TYPE: CASSETTE

ハンディボイスレコーダー。内蔵スピーカーと外部マイクからサンプリング。



8 DICTATRON-IN
TYPE: CASSETTE

ハンディボイスレコーダー。内蔵スピーカーと内蔵マイクからサンプリング。



9 FISHY 60
TYPE: CASSETTE

おもちゃのレコーダー。内蔵スピーカーと内蔵マイクからサンプリング。



10 MS-WALKER (designed by BlankFor.ms)
TYPE: CASSETTE

持ち運び式のパーソナルミュージックプレイヤー。



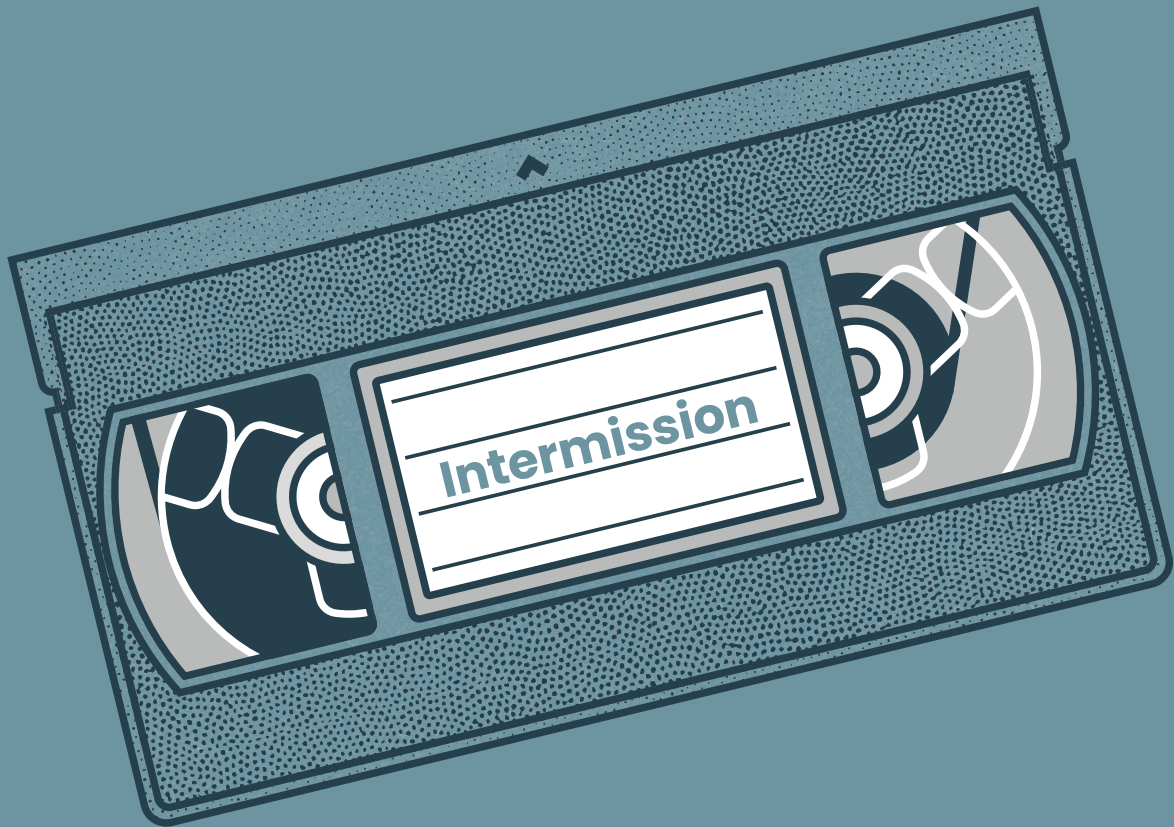
11 AMU-2 (designed by AMULETS)
TYPE: NA

劣化しきったテープ、かろうじて動作するレコーダーからインスパイアされたオリジナルモデル。



12 M-PEX (designed by Marcus Fischer)
TYPE: 1/4" REEL

古く脆いテープを使用したリールトゥリール。



Saturate

SATURATEは過大なシグナルがテープに録音されたときの、ユニークでダイナミックな歪み(ディストーション)を再現します。

磁気ヒステリシスループと呼ばれる現象ですが、ここでは詳しい説明は省きましょう。テープの磁気構造が変化することで、記録されるどんなサウンドもクールに反転させられるのです。



テープに記録を行うと、磁気的マテリアルの上にインプレッションが残ります。

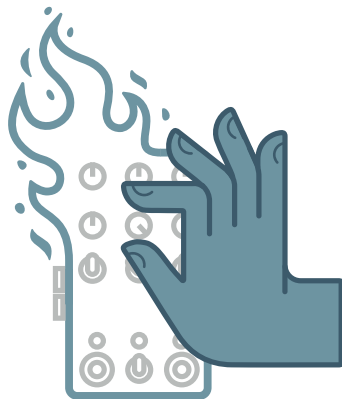


その後の録音は、過去のシグナルと重なることで歪んでしまいます。

SATURATEノブはこの効果を再現します。

ノブの大部分は、テープレコーダーで実際に聴けるような「聴こえないけど感じられる」ヴァイブスを再現するため、控えめな効果となっています。ですがプッシュすることでバイアスの mismatch や、極限のテクスチャまでも楽しめます。

サチュレーションの量は貴方が接続する楽器により異なります。隠されたオプションを使うとセットアップに合わせたインプットゲインの設定や、よりヘヴィな歪みのためのハイゲイン設定へもアクセス可能です。(p15)



SATURATE以外すべてオフにすることで、Gen Loss をオーバードライブのようにも使用できます。

SATURATEとMODELは相互関係にあります。シグナルフロー上(p44)ではサチュレーションの後にMODELが配置され、歪トーンの調整やフィルタリングが行なえます。サチュレーションがどの部分を強調し抑えるかはモデルにより異なります。

Failure

FAILUREノブはサウンドに小さな不完全性を付与し、より自然なテープの再現を後押しするマルチエフェクトです。サウンドに生きた感触、予測不可能性を与え、ステレオ処理において重要な要素でもあります。



DROPS

テープと再生ヘッドが接触しないことでプレイバックにエラーを発生させ、無音の瞬間を作り出します。



SNAGS

テープの瞬間の詰まりを再現し、ピッチが急激にジャンプします。



CRINKLES AND POPS

テープが劣化してデコボコになったりテープ表面に異物が付着したときの、揺れるような感触やヨレを微細に付与します。

FAILUREはオプションでカスタマイズができます。

- dropとsnag、どちらかまたは両方をdipスイッチを使って無効にできます。
- 隠されたオプション(p15)でCrinkles and Popsの音量を設定できます。

Crinkles and Popsは2つの要素から成り立っています。

• THE SOUND

揺れやポップノイズがサウンドとして聴こえます。ペダルにオーディオが入力されていなくても、このサウンドは聴こえます。隠されたオプションで調整できます。

• THE EFFECT

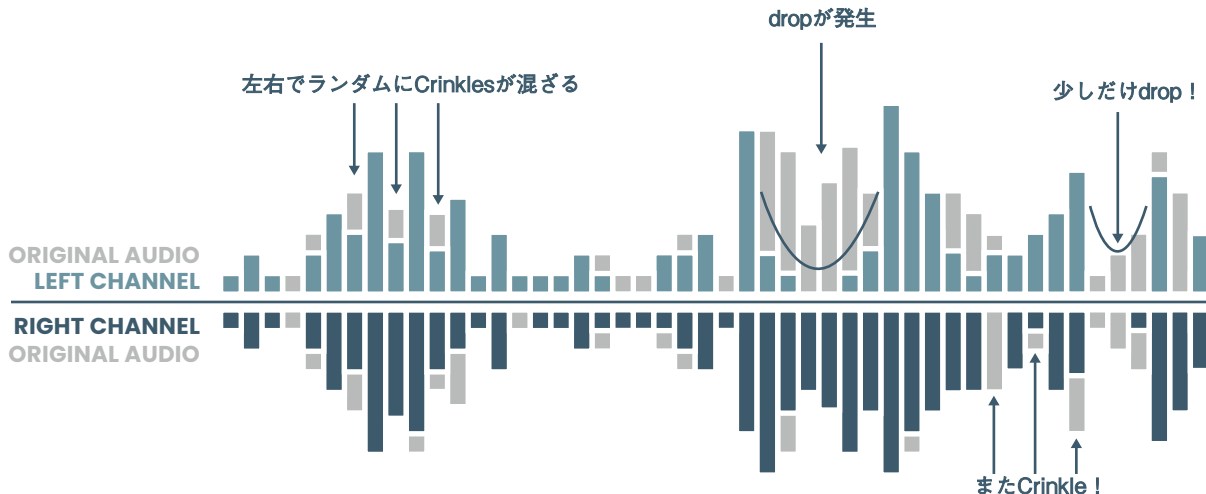
入力された音をCrinkles and Popsが処理し、サウンドに崩れやスパイクを付与します。FAILUREで唯一調整できない部分です。

様々な部分を調整して、自分好みに仕上げましょう。

Failure - Continued

SPREADをオンにしたときの多層に広がるステレオイメージにも、FAILUREは大きく関わっています。左右の出力チャンネルで異なるFAILUREエフェクトを個別に適用させるため、動きのあるステレオイメージを演出できます。dropsは最も顕著でわかりやすいエフェクトですが、バイパスしてCrinkles and Popsによるマイルドな変化のみの出力も可能です。

FAILUREを使用すれば、予測不可能なステレオスプリッターとしてクリエイティブな演出も可能です。dipスイッチのSNAG BYP, SPREAD, MISOをオンにして全てのノブは下げきって下さい。サウンドはクリーンを保ったまま、左右の出力ヘランダムにスキップするようになります。



Aux

Gen Lossには3つのAUXエフェクト(と隠された1つ)があり、パフォーマンス似合わせて使用できます。

エフェクトを選択し、AUXフットスイッチを押すとオンになります。AUXフットスイッチは長押しでモーター起動(押し続けている間のみ起動)、タップで通常のオンオフになります。

隠されたオプション(p14)でAUXエフェクトが入ってくるまでの時間を設定できます。



STOP

ウェット信号をゴムのように引き伸ばす、テープストップエフェクト。



FILTER

現在選択しているテープモデルをバイパスし、信号をフィルター無しで通過させます。



FAIL

FAILUREノブを最大にし、完全に壊れてしまったようなフィーリングに。



FREEZE

多くの声に応じて隠された4つ目のAUX機能として、FREEZEを搭載。実際のテープマシンはこれではできませんが、知ったこっちゃありません！CLASSIC MODE時のみアクセス可能です。

最後にプレイしたサウンドをFreezeは永遠に引き伸ばし、更にGen Lossのエフェクトで処理が可能です。

Freezeを有効にするにはAUXトグルをFAILに、DROP BYPとSNAG BYPのdipスイッチをオンにしてください。CLASSIC MODEにするのもお忘れなく。



STOP FILTER FAIL
AUX



CLASSIC

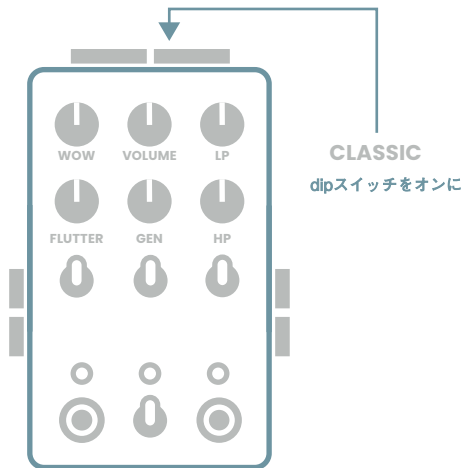
DROP BYP
SNAG BYP

ON
OFF

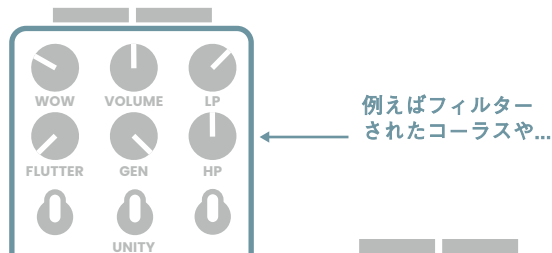
Classic Mode

CLASSIC MODEはCooper FXとChase BlissのオリジナルのGen Lossのサウンドと機能を再現します。

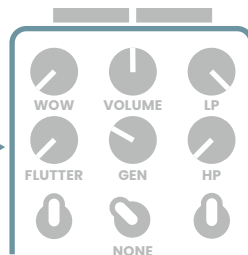
CLASSIC dipスイッチをオンにするだけで、全く異なる別のペダルを手に入れられます。



多くのコントロールはmkIIと一緒ですが、実際は異なる動作を制御しています。mkII同様、CLASSIC MODEでも各要素は独立して操作が可能です。



サンプルレートリ
デューサーとして。



CLASSIC MODEにはSPREAD dipスイッチを使ったステレオイメージ形成でも、独自のエフェクトを適用します。WOWのモジュレーションに合わせたスムーズなパンニングとなります。

CLASSIC MODEはそれ自体が独自の世界、つまりフィクションの作品なのです。どこにも実在しない、想像上のテープマシン。

もしかしたら、これこそ貴方が必要なモノなのかも。



Customize

Gen Lossのトップにあるダークブルーのdipスイッチは貴方のセットアップや好みに合わせてペダルをファインチューンします。



MISO

モノイン、ステレオアウト。モノ信号をスプリットしてステレオイメージとして出力します。

SPREAD

左と右チャンネル個別に、ユニークなステレオ処理を有効にします。モードにより異なるエフェクトになります。

MKII: FAILUREノブにより発生する故障したサウンドを、ステレオで別々に出力します。

CLASSIC MODE: WOWモジュレーションにより発生するスムーズなパンニングエフェクトを付与します。

DRY TYPE

オンにすると、WOWとFLUTTERを除く全てのペダルエフェクトが、ドライ信号にも適用されます。サチュレートし故障したコーラスエフェクトを作ることも可能です。シグナルフローはp44を御覧ください。

DROP BYPASS

FAILUREノブで発生するエフェクトからdrop(音量への影響)を取り除きます。

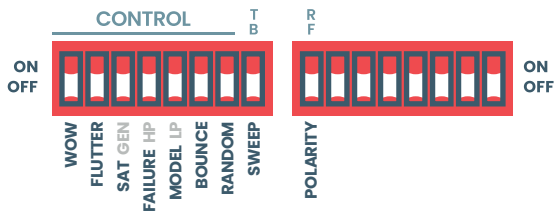
SNAG BYPASS

FAILUREノブで発生するエフェクトからsnag(ピッチのワープ)を取り除きます。

HUM BYPASS

NOISEトグルで発生するエフェクトから機械的ノイズを取り除きます。

Ramping



RampingはGen Lossのノブをオートメーションさせる機能です。1回だけの動き(ramp)または連続の動き(bounce)から選択できます。

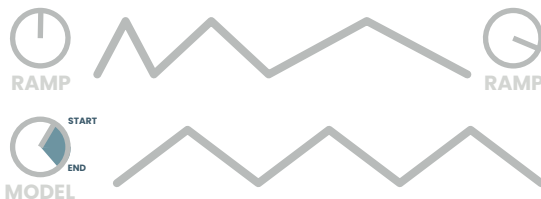
まずはbounceから始めるほうがわかりやすいでしょう。ノブ自身を自動でモジュレーションさせるイメージです。



1. bounceを有効にする。
2. 制御したいノブ選択。(複数可)



3. スウィープ方向を選択。
4. スピードを設定。



この設定では異なるテープモデルをジャンプし続けます。ノブ自身が自動的に決められた範囲を上下するようなイメージです。ノブの位置はムーブメントの最大または最小位置 (SWEEPの設定により異なります) となるため、重要なセッティングです。

bounceは通常トライアングル波形ですがランダム波形にも変更できます。



Random dipスイッチで切り替えます。

Rampは同じようなコンセプトですが、ペダルをオンにしたとき1度だけムーブメントが起きます。ノブでriseまたはfallポジションを決め、パラメータはその位置を維持します。Habitをオンにするときに、波のような動きをサウンドへ付加できます。

dipスイッチの入門編マニュアルではより詳しく解説しています。

Ramping - Ideas アイディア



TAPE HOPPER

 BOUNCE, MODEL, RANDOM

この設定はサンプル&ホールドのように機能し、異なるテープマシンのモデルに着地します。あるときはカムコーダー、あるときはリールトゥリール。MODELノブを使って変化するレンジを狭めることも出来ます。



FILTER SWEEPS

 CLASSIC, BOUNCE, LP, SWEEP

CLASSICMODEのフィルターはbounceするのに最高のパラメーターであり、さらなるモジュレーションを加えられます。SWEEPスイッチを使えば無音になるまでスイープしないように設定が可能です。LPノブを高めに設定すると、マイルドで微細な変化となります。低いサンプルレートとの組み合わせも最高です。

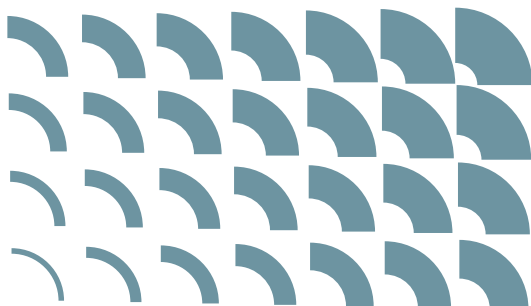


MAINTENANCE PHASE

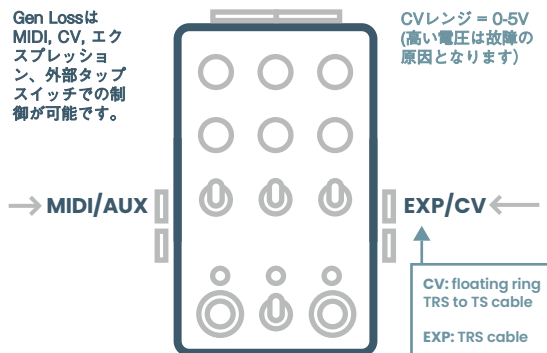
 BOUNCE, FAILURE, RANDOM

異なるFAILURE設定をジャンプし、故障具合がオーガニックに常に変化する設定です。FAILUREノブで最大の故障の具合を設定できます。SPREADがオンのときは、ステレオマニピュレーションも常に変化し続けます。

rampingを適用中は、VOLUMEはramp速度の設定となります。右スイッチを押しながらノブを回すことで、VOLUME変更にアクセスできます。



External Control 外部コントロール

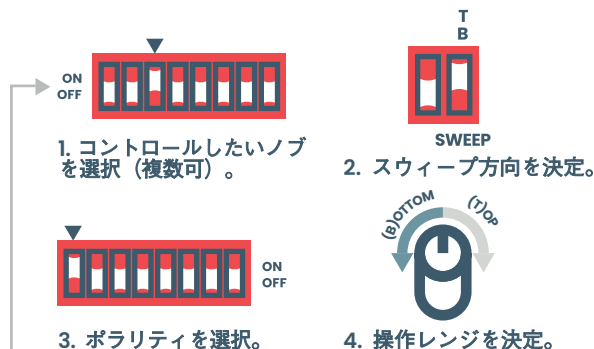


Gen Lossのノブはエクスプレッション、またはCVで制御することができます。

MIDIを使えば、dipスイッチや隠されたオプションを含むあらゆる要素をコントロールできます。

エクスプレッションまたはCVへパラメーター制御を割り当てるには、rampingと同様にペダル上部のdipスイッチで設定します。制御したいパラメーターを有効にしたら、ペダルはエクスプレッション信号かCVを自動的に検知し、コントロールが割り当てられます。

*何も接続がない場合はrampingへ割り当てられます。



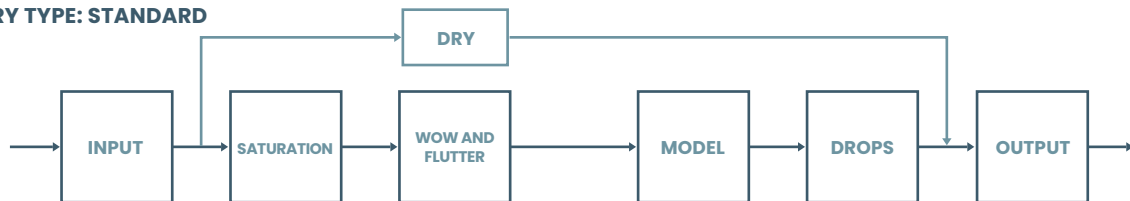
エクスプレッションまたはCVを接続しdipスイッチで何も割り当てない場合は、LEVELノブを制御します。

MIDI接続にはMIDI信号を1/4インチTRSジャックへ変換するChase Bliss MIDIBOXなどの機器が必要です。MIDIについての詳しい情報はMIDIマニュアルを参照ください。

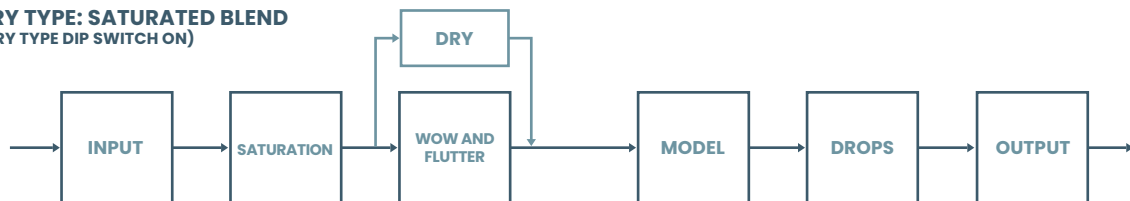
MIDIジャックはAUXフットスイッチをコントロールする外部フットスイッチの接続端子としても使用でき、特にテーブルトップでのプレイでは最適でしょう。ノーマリオープンモーメンタリースイッチを接続するだけでOKです。

Signal Flow シグナルフロー

DRY TYPE: STANDARD



DRY TYPE: SATURATED BLEND (DRY TYPE DIP SWITCH ON)



BYPASS OPTIONS バイパスオプション

スタンダード(MISOオフ、DSPバイパスオフ)

- 両チャンネルともトゥルーバイパス
- 両チャンネルともアナログドライスルー

MISOオン、DSPバイパスオフ

- 左チャンネル: バッファードバイパス
- 右チャンネル: デジタルバイパス
- 左チャンネル: アナログドライスルー
- 右チャンネル: デジタルスルー

DSPバイパスオン、MISOオンまたはオフ

- 両チャンネルともデジタルバイパス
- 両チャンネルともデジタルスルー

That's it.
Fail away.

Let us know if you have
any questions:
help@chasebliss.com

**We're here
to help.**

Enjoy.